

令和4年度（2022年度）

熊本県職員採用試験

【大学卒業程度（化学）】

※ 答案用紙の題には「ゼロカーボン推進と環境保全の両立」と記入してください。

論文課題

環境行政は、これまで、公害問題、社会問題化した様々な環境問題（化学物質、PM2.5などの大気汚染等）に対応してきた。そして、最近では地球温暖化防止に向けたゼロカーボンへの取組みが、これまでの経済活動そのものの見直し、転換が迫られる喫緊の課題として求められている。

ゼロカーボンの切り札として、太陽光などの再生可能エネルギーが注目されているが、大規模開発を伴う事から、身近な環境の保全との両立が大きな問題となっている。例えば、太陽光発電は、広大な面積を要することから、設置場所によっては環境破壊・自然災害誘発が懸念され、令和の公害と呼ぶ識者もいる。また、太陽光パネルの廃棄処分体制が十分確立されていない現状もある。

このように、地球温暖化防止のための環境保全と、身近な環境保全が必ずしも相容れない、複雑な様相を呈した状況に直面しているのが、昨今の環境行政である。

以上の背景を踏まえ、ゼロカーボンの推進と身近な環境保全の両立の観点から、本県において環境行政がなすべきことについて、あなたの考えを述べなさい。

《注意事項》

※ 答案用紙は表裏750字の1500字詰めとなっています。1000字程度で答案を作成してください。

※ 下書きのための用紙は配付しませんので、この用紙の裏面をお使いください。

※ この論文課題用紙は持ち帰ることができます。